

松下幸之助 創業の心

MATSUSHITA KONOSUKE PHILOSOPHY

目次

Part 1

経営理念篇

1 経営理念が企業を強くする

- 基本方針を初めて訴えたとき ● 松下電器の活動を力強くするために真使命を発表した ● 転職者には基本方針の大切さが身にしみた

2 社会的責任を負わない企業は亡ぶ

- 「企業は公器」であるという認識が、すべての基調 ● 企業規模が大きくなればなるほど、社会的責任も大きくなる ● 地域の人に喜んでもらえることが企業の存在意義

3 適正利潤を得ることは、企業の社会的責任である

- 利益は企業が社会的責任を果たした結果、得るもの ● 1930（昭和5）年の利益についての話 ● ステークホルダーへの利益還元

4 グローバル化の時代には、過去にとらわれない新たな経営手法が必要

- 松下電器グローバル化の基底にあった水道哲学 ● グローバル化においては自主性が一層問われる ● 中国でも受け入れられた経営理念

英文解説 —— 企業はだれのものか

Who Owns the Company?

Part 2

行動理念篇

1 日々の積み重ねで、大事は成し遂げられる

- 日々、心の培養を図る ● ささいなこと積み重ねが、誠意ある振舞いを生む ● 1歩1歩の進歩が成功に結びついた ● 日々新たに仕事に打ち込んでこそ、人間力は向上する ● 生成発展こそ日に新たな姿

2 感謝の念は、人間関係を豊かにする

- 感謝の念で病気が治った話 ● 生かされていると感謝すれば、大きな喜びが生まれてくる ● 道行く人も、みなお得意様 ● 仕事ができるのはみなさんのおかげ ● お辞儀一つもどこか違っていた

3 経営力は、衆知が集まるかどうか

- 求める心があれば衆知は集まる ● 衆知を集めることは日本の伝統精神 ● 衆知を集めるには、主座を保つことが大切

4 人を育て、活かすには

- ものを作る前に人をつくる ● 地震被災時にも人を育てることを忘れなかった ● 人を育てる心得には愛嬌を添えること ● 人間の本质は磨けば輝くダイヤモンドの原石

英文解説 —— 素直な心

The Untrapped Mind

Part 3

成長戦略の一環として、社名変更・ブランドを統一します。

松下電器産業株式会社
大坪文雄 社長に聞く

Part 4

松下幸之助と同時代を生きた経営学者が語る実践経営学にすぐる学問なし

財団法人日本総合研究所
野田一夫 理事長に聞く

Part 5

資料篇

- 松下幸之助関連書籍のご案内
- 松下幸之助創業者の歩みと松下電器の歴史（英文・和文）

表紙デザイン ● 村田良平 本文デザイン ● 村田良平 / 合力佐智子
 写真撮影 ● 橋本浩美 写真提供 ● 松下電器
 【言葉の使い方について】
 本文中の松下幸之助創業者についての表現は、「松下幸之助創業者」「創業者」なし「松下」で統一をしました。